

介護予防サポーター広報チーム活動参加インタビュー 昭和薬科大学学生・地域活動実践プログラムを終えて

昭和薬科大学6年生 飯田 弘さん

 活動を終えての感想をお願いします

 大変なこともあったが、大変さ以上の経験と喜びを得ることが出来ました。

 学べたこと、参加の目的は出来ましたか？

 学びたかった Word は思うほど成果を上げることが出来なく残念な部分でした。

広報紙の文章構成の作り方・語彙の大切さを、高齢者とのやり取りでは連絡や言葉使いなど付き合い方の重要性に気づき、インタビューでの意見を伝える大切さを学びました。

 楽しかったことや嬉しかったことは？
今後に活かせることはありますか？

 インタビューすることが楽しく、沢山の方と様々なお話をし、聞くことが楽しかったです。エンサポを作る過程（企画・取材・作成）全て経験できたこと、コミュニケーションの取り方は薬剤師としての仕事にも役立てたいです。



昭和薬科大学1年生 勝又 亜子さん

 活動を終えての感想をお願いします

 薬学生について知ってもらいたい思いを記事にし、伝えられた達成感がありました。

 学べたこと、参加の目的は出来ましたか？

 故郷で薬局カフェを立ち上げたい夢に必要な知識を得ることが出来ました。図や表を使い、広報紙として見やすく分かり易く纏め、伝えあげる力を身に付けました。誰に向けて発信するかを明確化することで情報発信の仕方が変わることを知れました。

 楽しかったことや嬉しかったことは？
今後に活かせることはありますか？

 薬剤師の考えを直接の関わりがあまりない介護へつなげられた点、アイディアと夢を受け入れてくれたことが嬉しかったです。自分の考えや伝えたいことを分かり易く伝える方法を今後活かしたいです。

学業との兼務、飯田さんは【薬剤師国家資格試験】を控えての参加でした。連絡や打ち合わせと限られた時間の中でとても大変で難しい部分があったと思います。多世代と作り上げ、共有していくことを広報チームも学びました。インタビューを行ったサポーターさん、支援センターの職員さんとお会いする度に「よろしく伝えてね!」とお声掛けされました、ひとえにお二人の頑張りの賜物です。来年も機会があれば一緒に活動のお手伝いが出来ればとお二人よりお声をいただきました。

飯田さん・勝又さん 半年間 ありがとうございました

町田市いきいき生活部高齢者支援課
町田市介護予防サポーター 広報チーム



編集 : 町田市介護予防サポーター 広報チーム

発行元 : 町田市いきいき生活部高齢者支援課 ☎ 042-724-2146